

## 第 3 7 回環境審議会議事要旨

日 時 平成 2 8 年 8 月 2 9 日 (月)

午前 1 0 時から正午まで

会 場 秋田市本庁舎 5 階第 3 委員会室

### 1 出席者

#### (1) 秋田市環境審議会委員 ( 1 5 名中 1 2 名出席)

黒澤薫委員、菅原拓男委員、菅原勝康委員、杉山秀樹委員、  
高橋敦子委員、高橋大輔委員、竹田勝美委員、寺山雅子委員、  
縄田浩志委員、福岡真理子委員、蒔田明史委員、村中孝司委員

#### (2) 秋田市環境部

中島修環境部長、池端強志環境部次長

環境総務課：伊藤健課長、細井康広新エネルギー担当課長、

畠山高朗主席主査、小松尚徳主査

環境都市推進課：井筒渉課長、佐々木恒英主席主査、長谷川基主席主査

環境保全課：高橋尚夫課長、高橋典之副参事、佐藤和人主席主査

廃棄物対策課：井川正広主席主査

### 2 次 第

#### (1) 開 会

#### (2) 環境部長あいさつ

#### (3) 会長あいさつ

#### (4) 議 事

秋田市環境基本計画の改定について (諮問)

#### (5) そ の 他

水銀含有ごみの分別収集および処分について

秋田市住宅等の適切な管理による生活環境の保全に関する条例の制定につ  
いて

(仮称) 秋田港洋上風力発電事業について

秋田港火力発電所 (仮称) 建設計画について

雄物川流入水路で発生した水質事故について

#### (6) 閉 会

中島環境部長、菅原会長のあいさつに続き議事に入る。

秋田市環境基本計画の改定について、環境総務課課政策調整担当より説明を行い、質疑が行われた。

#### 【質疑内容】

##### 4 (1) 秋田市環境基本計画の改定について

会長 現計画に基づく指標の進捗状況について、「地球環境問題」の目標達成率が他と比べて低くなっているが、その要因は何か。また、目標達成率の基準年度をいつにしたのか、その後、数値目標の見直し等を行っているなかったのか、説明していただきたい。

環境部長 平成22年度に策定した秋田市地球温暖化対策実行計画の中では、市域の温室効果ガス排出量がどの程度削減できるかというところで数値目標を設定したのだが、2012年（平成24年）度で1990年（平成2年）度と同じ排出量を目指すということで、目標設定した経緯がある。計画策定段階において、国から積極的な目標数値を設定するよう指導があったのだが、実際は1990年度よりも約2割排出量が増加していたため、目標を設定する際には、少なくとも1990年度まで削減するという目標を設定したものである。

また、東日本大震災の影響により、調整後の排出係数が0.3から0.5になったことで、5割程度増加したものである。その結果、温室効果ガス排出量が約20万t-CO<sub>2</sub>の増加となったものである。産業部門はほぼ横ばいだが、民生家庭部門と民生業務部門が微増となっており、その部分をどう削減していくかが課題であると認識している。

会長 国においても、昨年のパリ協定の採択を受けて、地球温暖化対策計画を改正したことから、計画の改定に反映していく必要がある。

委員 世界・国・県等の動向について、国では、平成16年に外来生物法を制定、20年には生物多様性基本法を制定、22年には生物多様性国家戦略を策定しているが、今現在、秋田市では生物多様性に関する条例、施策はない状況となっている。他都市においては、国の生物多様性国家戦略に基づいて条例や地域戦略等を策定する動きが出てきていることを踏まえ、改定後の計画では、どのような取扱いをしていく

のか。

環境部長

現在の体制や本市の生物多様性に対する捉え方等を考慮すると、法の理念等に基づき、直ぐに条例を制定するというのではなく、現状を把握しながら、条例の制定に向けて検討を進めていきたい。

具体例としては、千秋公園内に希少な動植物が確認されていることから、それをモデルケースとして、生物多様性について検討していくとともに、国内には本来存在しなかった外来種や、元々秋田市内で確認されなかった国内外来種が増加傾向にあるということ、市民にもPRしながら、条例策定等について検討していきたいと考えている。現状把握や情報提供の体制整備に3～5年程度、時間を要すると考えているが、改定後の計画の中でも検討していくこととする。

委員

早期の策定について、検討していただきたい。

委員

分野別の現状と課題について、現状分析をもっと厳しく捉えていただきたい。今現在、何が問題となっているのかというのをしっかりと分析した上で、課題に対する対応を改定後の計画へ盛り込むべきと考える。自然環境について、ニセアカシアの繁茂が植生群を乱す要因となっているように、他分野でもそうだが、確認されている問題点についてしっかりと認識しておく必要があるのではないかと。モニタリング調査を実施しているとあるが、どのようなモニタリング調査をして、どのような結果が出ているのかが非常に重要になってくるのではないかと考えられることから、さらに内容を吟味して記載していただきたい。

環境部長

自然環境については、なかなか現状認識が甘いものと考えている。そのため、計画改定作業の中で、今後、どのような施策を行っていくことが適切なのか、検討していきたいと考えている。

委員

八郎湖の水質対策についても、積極的に近隣市町村とともに取り組んでいてもらいたい。また、海や海岸等の保全について、どのような施策を行っているのか。

環境部長

八郎湖の水質対策については、秋田市でも馬踏川の水質対策や環境

美化活動等を行っている。

環境部長

海や海岸等の保全については、港周辺も含めて秋田県が所管となっている。マイクロプラスチックによる海洋汚染が問題となっているが、本市の海岸沿いにどのような種類のプラスチックが流れ着いているかといったデータが全くない状況であるため、自然環境体験活動推進事業において、海をテーマにした体験活動もあることから、その中で調査できないか検討しているところである。

委員

現計画に基づく指標の進捗状況について、目標達成率は高いが、指標改善率が低い項目が見受けられる。目標達成率と指標改善率の関係について教えてもらいたい。また、グラフの表記方法について、もっと見やすいように検討してもらいたい。

環境次長

グラフの表記方法については、検討していきたい。

目標達成率と指標改善率の関係については、現計画策定当時の現況値を高く設定したことによって、目標は達成しているが、指標の改善率が若干低かったものと思われる。

委員

ワークショップは今後開催する予定なのか。また、計画の中に出てくる用語の中には、市民にとって専門性のある用語も多くあることから、用語解説は適切に入れてもらいたい。

本市の目指す、あるべき姿が何なのかというところも市民にはなかなか伝わりづらく、また行政にはさまざまな計画があるため、相互の関係性も把握しづらいことから、相互にどのような関係性があるのかを明確にしたほうが良いと考える。

現在の市民生活の現状等を適切に把握した上で、今後10年の計画を策定していくべきと考える。

環境総務課

ワークショップについては、10月に開催することを目途としていて、そこで得られた意見を今後の改定作業に反映していくことができると考えている。

用語解説については、現行の計画でも掲載しているが、その掲載場所も含めて、よりわかりやすい解説となるよう検討していきたい。

委員 基本目標については、今後修正していく予定はあるのか。限りある資源となると化石燃料だけに着目している印象を受けるが、東日本大震災以降、再生可能エネルギーが災害時に果たす役割は非常に大きいと考えるため、「再生可能エネルギーの推進を目指しながら、防災に強いまちを目指します」というように変更することも必要なのではないか。

環境部長 各委員から忌憚のないご意見をいただき、より中身の濃い計画にしていきたいと考えております。ご指摘の部分についても、記載内容を改めていきたいと考えております。

#### 5 (1) その他（水銀含有ごみの分別収集および処分について）

委員 各薬局には回収ボックスとチラシが配布されており、まだ家庭にある体温計等を回収することに力を入れて行きたいと考えている。その後の処分についても、適正に行政で行っていただきたいと考えている。

#### 5 (2) その他（秋田市住宅等の適切な管理による生活環境の保全に関する条例の制定について）

会長 パブリックコメントについて、意見がなかったということだが、条例の内容がわかりやすかったという理解で、今後も適切に進めていていただきたいと考える。

#### 5 (3) その他（（仮称）秋田港洋上風力発電事業について）

委員 今後の流れについて説明していただきたい。

環境総務課 フロー図で、今後の流れについて説明。

委員 環境アセスメントの状況について、市としての意見を市民に説明を

|       |                                                                                                     |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | したりはしないのか。                                                                                          |
| 環境総務課 | 現時点で市主催の説明会を開催することは考えていない。事業者に対しては、住民説明会を適切に開催するようにと指導し、北部市民サービスセンターで説明会を開催したが、住民からは意見は特になかったものである。 |
| 委員    | 市で県知事宛に提出した意見について、もっと市民に周知すべきではないか。                                                                 |
| 環境部長  | 様々な広報媒体を活用して周知できないか、検討していきたい。                                                                       |

#### 5 (4) その他（秋田港火力発電所（仮称）建設計画について）

|    |                                                             |
|----|-------------------------------------------------------------|
| 委員 | 原子力発電所が稼働停止となっている状況では、ベースロード電源となる火力発電所は、今後とも必要となってくると考えている。 |
|----|-------------------------------------------------------------|

#### 5 (5) その他（雄物川流入水路で発生した水質事故について）

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 委員    | 生物の名称等の記載について、適切な表現を用いていただきたい。 |
| 環境保全課 | 了解した。                          |

以上